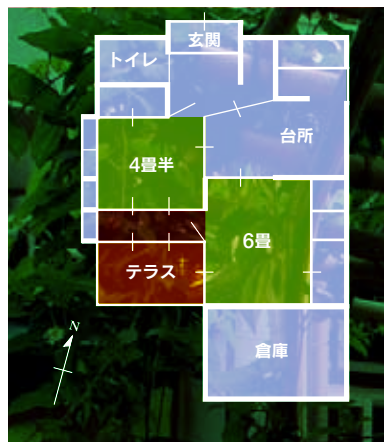


# こまじいのうち

Since 2013

一軒の空き家がつくった、地域のつながり



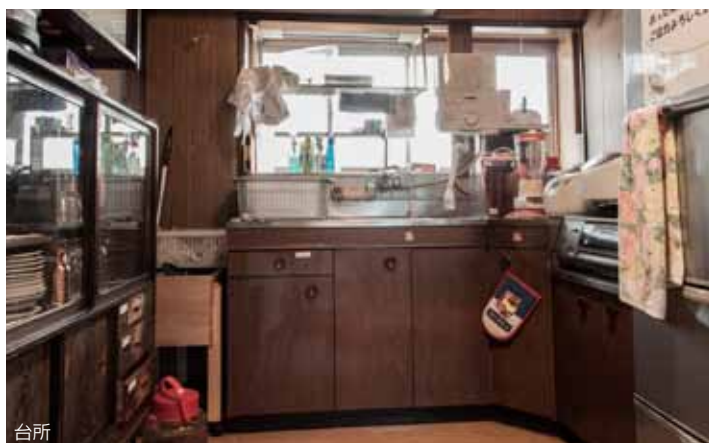




6畳の部屋(上)と4畳半の部屋(下)



テラス



台所



トイレ



洗面所

# この1年をふり返って

**中村進** 「こまじいのうち」の地元、神明西部町会会長

**秋元康雄** 「こまじいのうち」のオーナー

**近藤美加子** 近所のママ、「こまじいのうち」ボランティアコーディネーター

**工藤玲子** 子どもを守る目コミュ@文京区代表、「ゆる育カフェ」担当

**畠山亮** 東洋大学学生、非常勤学生スタッフ

**三縄毅** 駒込地域活動センター所長

**浦田愛** 文京区社会福祉協議会 駒込地区地域福祉コーディネーター



中村 進

**三縄** 平成25年10月1日にオープンして、今年の7月末までに3100人の方がご利用になりました。非常に盛況でしたね。

**中村** この一年、まあ良かったのではないのでしょうか。しいて言うなら、主催が駒込地区町会連合会ということで町会連合会内の地域に住んでいる方の参加者がより多くなるかと思っております。



秋元康雄

**秋元** 地域の人にこの空き家を使ってもらえるならば、と軽い気持ちで引き受けました。オープンした頃は、プログラムの数も少なく、これなら私の負担も少なく大丈夫かなと思っていたら、今では、びっしり埋まっています。運営で、休館日まで使われています。運営していくことは大変なこともあります。がとても嬉しいことです。

**近藤** 私は利用者として参加していた



三縄 毅

のですが、今ではボランティアコーディネーターとしてお手伝いしています。毎日が楽しいですし、2歳の息子と活動しているのですが、地域の人に育ててもらっているという感じですね。この一年で息子は大きく成長しました。

**三縄** 東洋大学の畠山君はいつもよく手伝ってくれているよね。活動のきっかけは何ですか。

**畠山** 最初は大学のゼミです。東洋大学の小林良二先生が社会福祉協議会の地域福祉活動計画の策定委員長をされた関係で、オープニングから参加しています。私の住んでいる地元にはこうした場所はなく地域福祉にかかわる機会もないのですが、「こまじいのうち」は誰でも気軽に参加しやすく、なおかつ深いところまで関わることができるところがいいです。

## 子育て世代が参加する理由は

**工藤** 私自身、子ども2人の育児中ですが、子連れだと外へ出るのも電車に乗るのも結構大変です。また、子育て中の方々ですに関係ができていくグループへの参加は、ハードルが高くてなかなか行く気にはなれず、つい孤独に母親と子どもが向かいがちです。

**近藤** ママ友を作ること難しいですよね。

**工藤** そうですね。「こまじいのうち」では若いお母さんたちのグループがいくつか立ち上がりましたが、嬉しいですね。自分に合う場所は見つかりにくいので、一人で子育てに悩んでいる人は多いと思います。

**三縄** 秋元さんは「こまじいのうち」をやってよかったですか。

**秋元** だんだん面白くなってきたね。いろいろな人と知り合いになれるし、



畠山 亮



近藤美加子

面白い話も聞ける。特に若い子連れのお母さんと知り合えるのが面白くてね。こんな若いお母さんが子どもを連れて大勢遊びにくるなんてびっくりしたよ。子どもの名前を一人ひとり短冊に書いて覚えようとするけどなかなか覚えきれないね。最近は小学校の低学年の子どもも来るようになって、探検だつて言っただけで喜んでくる。いいことだよ。生活は一変したね。

**工藤** ゆるいつながりができて気軽に出入りできるこのような場所があることは、すごく心強いし、参加する方としてもありがたいなと思います。地域の人たちとつながれるということは、子育てしているお母さん方にとっていい場所ではないかと感じています。地域の方々と自然に仲良くなれますし、秋元さんに可愛がってもらって子どもの成長にとっても良いと感じています。

## 住民主体だからできる「ゆるい」運営とこれからの課題

**浦田** こうした居場所づくりはほかの地域でもあるのですが、この「こまじいのうち」は、いろいろな人が少しずつ力を貸してくれてそれがうまく歯車がかみ合っていてゆるく運営されていると感じています。「ゆるく」ということがポイントですね。

**三縄** あまり規則で縛って、あれはダメ、これはダメと言ってしまうと、参加する人も息苦しいよね。ゆるく来ていただいて気楽に参加するという趣旨はいいですね。

**中村** ここまでできたのはこうした仕掛けを考えたくれた駒込地域活動センター三縄所長や文京区社会福祉協議会の浦田さんや小幡さんたちが手伝ってくれたおかげです。



工藤玲子



浦田 愛

プログラムを目的に来る人も多いですが、目標としている趣旨からすると、地域の人がおぼろりと来てなごんで帰るといのが本当は良いと思います。

**浦田** 地域の居場所になっていくのは時間がかかりますが、駒込地区を回っていると一人暮らしの方もバザーやるよね、などのご存じの方が増えてきています。

**三縄** 近藤さんは活動の目標なんかはありますか？

**近藤** ボランティアコーディネーターとしての役割をしながら、これからももっと色々な人たちと触れ合っていけたら楽しいかな。

**浦田** 他の地域や、首都大学東京で開かれる小地域福祉活動サミットでも発表してほしいと依頼がきました。町会とボランティアの団体が一緒に活

動することや参加者が運営の方に回るなど居場所としてモデルになる要素が多いようですね。

**中村** 町会の人だけで運営していると、ボランティアへの拒否反応がでてきたりもするけど、始めからいろいろな団体へ間口を広げたということが良かったね。

**三縄** 高齢者の方からお子さん連れのお母さん方まで幅広い方が来て下さっています。設立の趣旨にかなったことだと思います。

**中村** これからはまだ来たことがない人、特にこの地域に住んでいる人に大勢来てもらいたいですね。

**工藤** 他の地域でも「こまじいのうち」をモデルにしてどんどんつくってほしいと思います。

**三縄** こうして皆さんの話を伺うと、駒込地区町会連合会の主催で生まれて、皆さん方の協力のもと、まずまずの滑り出したと思います。ただ、これから「こまじいのうち」を地域の中で運営できる人材の確保が課題ですね。

**近藤** 私がんばってお手伝いします。秋元さん長生きしてくださいね！

# 「こまじいのうち」活動レポート



## ■ 囲碁入門教室

若い人も高齢者も、女性も男性も、みんなで楽しく囲碁対話！地域のコミュニティの先がけとして期待しています。



■ 第1回駒町連居場所づくり実行委員会

## ■ 脳トレ健康麻雀

ポン、チイ、カンと「こまじい脳トレ麻雀」です。隔週水曜日午後、16名の高齢者が元気で楽しく腕を競い合っています。どうぞ！



■ オープニングセレモニー



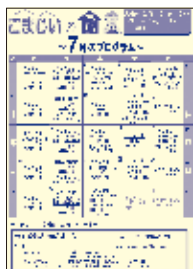
## ■ こまじいキッチン

徐々にお客様が増え、食と健康の輪も広がってきて嬉しく思っています。今後もよろしくお願いします。



■ こまじいdeかるた会

作ったり遊んだり、かるたを通じて地域の皆さんとゆるやかにつながる楽しい会です。



## ■ 学生落語会

東洋大学落語研究会による落語会



## ■ 7月のプログラム

ぎっしりとスケジュールが埋まっています。広報担当：伊藤寛子

**「こまじいのうち」協力団体**  
 囲碁指導者連絡会／傾聴ボランティア「ぞうの耳」  
 更生保護女性会／子どもを守る目コミュ@文京区  
 青少年委員／地域活動栄養士会／東洋大学落語研究会  
 話し合い員／文京かるた隊／学習支援「てらまっち」  
 みまもりサポーター／民生委員・児童委員（順不同）

平成25年

- 5月21日 第1回駒町連居場所づくり実行委員会  
— 趣旨説明、愛称決定、組織案決定など
- 6月3日 第2回駒町連居場所づくり実行委員会  
— プログラム提案、組織・運営経費について検討
- 6月18日 第3回こまじいのうち実行委員会  
— 第4回こまじいのうち実行委員会
- 7月23日 第4回こまじいのうち実行委員会  
— 第5回こまじいのうち実行委員会
- 9月3日 第5回こまじいのうち実行委員会  
— 協力団体への説明
- 10月1日 こまじいのうちオープニングセレモニー(80名の来場者)  
— 現在の課題について協議、Facebookの紹介
- 11月12日 第6回こまじいのうち実行委員会  
— 現在の課題について協議、Facebookの紹介
- 11月12日 カフェこまスタッフ研修  
— 参加者の受入について研修  
— 新潟の「うちの実家」DVDを観賞
- 12月12日 第7回こまじいのうち実行委員会  
— バザー打ち合わせ、活動相談

平成26年

- 1月18日 こまじいバザー
- 1月28日 第8回こまじいのうち実行委員会 こまじい未来会議  
— ボランティアアコーデネットの仕組みづくり検討
- 2月7日 第9回こまじいのうち実行委員会  
— 子育て世代・子ども向けプログラムについて
- 3月17日 第10回こまじいのうち実行委員会  
— 現在の課題共有
- 3月31日 第11回こまじいのうち実行委員会  
— バザー開催について
- 5月19日 こまじいボランティア交流会  
— ボランティア活動情報交換
- 6月21日 こまじいバザー
- 7月6日 西東京市にて発表
- 7月14日 渋谷区にて発表
- 7月26日 小地域福祉活動サミットat首都大学東京にて発表

オープン時に掲載された新聞記事の切り抜き



### ■ こまじいバザー

1月と6月におこなわれたバザー、運営費の重要な資金源。



### ■ ゆる育カフェ

ゆつくりおしゃべりを  
楽しんで、子育ての疲  
れやストレスを解消し  
ましょう！

### ■ こどもあそび隊

身近な所で小学生対象の  
居場所の会を持たせたこと、  
地域にとけ込めたことが  
最高です。



### ■ 傾聴茶屋

「傾聴茶屋 ほんこま」  
でお待ちしています。  
月2回金曜日の午後、  
おしゃべりしながら出  
会いを楽しみ、ゆった  
りした時を過ごしてい  
ます。気軽にのぞいて  
みてください。



### ■ ばびぶ☆ベビー

0～1歳児を中心とした  
親子が集まり、楽しくお  
しゃべりをしています。  
ぜひご参加ください。

## カフェこま



### ■ 手作りカフェこま

いろいろな特技を持った人が  
先生です。自分の好きなもの  
に参加し、思い思いに時間が  
過ぎていきます。



カフェこまのスタッフ代表  
前原時子さん

利用する人も増え、この一年間楽しく  
お手伝いすることができました。  
私自身も来るのが楽しみにいろいろな  
人との出会いがありました。

## Staff

西山智子／竹内あけみ／金子ツヤ子／前原時子／生津朝子／大橋千枝子／北沢邦子  
西田嘉子／佐藤節子／船崎敏子／穂積千代／桜井しげみ／白椋京子／近藤美加子  
山上良一／鈴木敏夫／菅又恵美子／羽毛田順子／上部恵美子／藤村修治／渡辺陽子  
畠山 亮／吉田佳介／中嶋廣子／藤田芳枝／水野晴子／古藤田恵美子／稲見暁子（順不同）

# 駒 込 地 区



吉片町会 会長 大畑雅一

訪れる人の相談場所だったり、交流の場所ができて楽しみが増えた。うちの町会は掲示板を見ている人が多く、広まっている。他の地域の人からも羨ましがられている。



浅嘉町会 副会長 入沢 理

いろいろな事業をされて、盛り上がっているのはよいことです。回覧やチラシなども貼ってあるので町会の方にもよく知られていると思います。



曙町会 会長 加藤隆一

高齢者の方の利用が多く、結構なことです。うちにも町会の事務所があるので、「こまじいのうち」みたいにやりたいがスタッフがいないのが残念。



上富士町会 前会長 宮本誠司

私が連合会長の時に始めた事業で12町会が趣旨をご理解いただいて発足しました。参加者も多く盛況で、いろいろな形で利用されるといいと思います。

# 町 会 連 合 会



上動五三会 会長 櫻井新次郎

当初はどのような事業展開にすればよいのか、利用する人はいるのか心配でしたが、実行委員会がよく機能し、参加者も多くなって安心しました。



動坂中町会 会長 田邊國弘

スタッフの皆さん、地域活動センター三縄所長、文京区社会福祉協議会浦田さん、居場所提供者の秋元さん、皆さんのエネルギーには脱帽です。



動坂町会 会長 福田敏一郎

うちの町会からは少し遠いので、元気な高齢者が活動できるような場所がうちの町会内にも欲しいね。少しでも多くの方に利用してもらいたいですね。



富士前町会 前会長 新井基二

地域の高齢者クラブの方や赤ちゃんを連れた若いお母さん方が利用していると聞きました。地域の中で、こうした場所ができたことは嬉しく思います。

## からの



神明町会 会長 小林 誠

多に利用してもらいたいと思っています。長く運営していくためにも、おもしろそうなイベントや企画などが重要となるでしょう。



神明上町会 会長 高橋繁栄

区の施設とは違い飲食も自由でできるし、地域の人々が来ているので、会話も弾む。これからもこの雰囲気を守ってやっていければいい。

## メッセージ



神明西部町会 会長 中村 進

参加者も多く、喜ばしいことですが、もう少し、駒込地区の方に参加して欲しいと思っています。ゆっくりお茶を飲んでいく人が増えることが一番です。



本駒自治会 会長 坂元秀人

自治会からボランティアに参加する人もいて、活動に広がりが出ています。自治会活動はもちろん、この場所で地域貢献していくのもよいことではないか。

写真提供：「こまじいのうち」

## 「こまじいのうち」ボランティア募集

運営スタッフ、「すけっと隊」(草むしりや簡単な植木の剪定、電球の交換)や特技を活かして活動したいという方を募集しています。

ご希望の方は、下記問い合わせ先にご連絡をお願いします。

### 「こまじいのうち」1周年記念誌

2014年10月1日

発行 駒込地区町会連合会  
 企画・監修 駒込地域活動センター／文京区社会福祉協議会  
 写真 松田洋一  
 デザイン・編集 清水宣博  
 問い合わせ 〒113-0021 文京区本駒込5-11-4  
 070-6998-5114 (近藤)  
 070-6999-5114 (秋元)



主催 駒込地区町会連合会  
 「平成26年度東京都地域の底力再生事業助成」対象事業  
 協力・支援 駒込地域活動センター／文京区社会福祉協議会

